

令和6年度事業実績について

社会福祉法人 内湯療護園

目次

①	障がい者支援支援施設 内湯療護園	P1
②	障がい者支援支援施設 第二うちがた	P8
③	しあわせセンターうるしかわ	P13
④	ケアホームうるしかわ	P15
⑤	ひだまり工房（多機能型施設）	P16
⑥	内湯療護園 相談センター	P21
⑦	内湯療護園 デイサービスセンター	P22
⑧	内湯療護園 ホームヘルプセンター	P24
⑨	うちがた工房（多機能型施設）	P25
⑩	地域密着型特別養護老人ホーム きりん館	P26
⑪	障がい者福祉ホーム きりん館	P28
⑫	中泊町地域包括支援センター	P29

内湯療護園 福祉課

生活支援

1 実施状況

- ① 職員のキャリアに応じた、職場外研修（オンライン研修）への参加や、毎月1回、各委員会が講師を務める形で職場内研修を実施し、年2回以上「身体拘束」および「虐待防止」に関する勉強会を開催、外部講師を招いての専門的な研修の導入「アンガーマネジメント研修」を開催し職員のスキルアップに努めた。
- ② 医療的ケア体制の強化を目的とし、青森県が実施する「喀痰吸引等研修（第二号研修）」に1名の職員を研修に参加。実地研修等の指導を受け、認定特定行為業務従事者としての認定を取得できた。また、職員の専門性向上を図るため、6名の職員が「強度行動障がい支援者養成研修」を受講し、支援に関する知識と技術を得る。
- ③ 新型コロナ感染症に関連し、年2回施設内クラスターが発生し、感染症マニュアルに基づいた適切な支援対策を迅速に実施し、利用者ご家族の協力を得ながら、感染拡大を抑止し収束することができた。
- ④ 年2回避難訓練を実施し、地元消防団および住民の方々の参加を得ることで、相互協力体制を確立する。また、防災事業における取り組みとして、災害福祉支援体制構築助成事業を活用し、BCP（事業継続計画）及び危機管理向上研修会、災害時食糧対策に関する研修会を実施し、地域との防災意識向上および災害対応力の強化に努めた。
- ⑤ 施設入所者の健康管理に努めた結果、一部の方の入退院が見られたものの、稼働率は目標の100%を達成することができました。一方で短期入所の稼働率は83.4%で目標達成には至りませんでした。この結果を受け止め、今後もさらなる改善に向けて取り組んでいく。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	922	954	923	960	944	905	959	930	956	960	839	950	11,202	933.5	12
入院日数	8	7	7	1	12	23	0	0	5	1	28	4	96	8.0	-31
外泊日数	0	0	0	0	5	2	2	0	0	0	1	2	12	1.0	12
稼働率	102.4	102.6	102.6	103.2	101.5	100.6	103.1	103.3	102.8	103.2	99.9	102.2		102.3	
生活介護	681	711	671	699	702	667	699	679	710	705	591	700	8,215	684.6	-64
稼働率	103.2	103.0	101.7	101.3	101.7	101.1	101.3	102.9	102.9	102.2	98.5	101.4		101.8	
在宅利用	24	26	11	12	8	7	13	8	8	10	12	19	158	13.2	117

※ 在宅利用：在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計	平均
男	0	1	5	4	6	5	1	1	23	57.3
女	0	0	1	2	1	1	2	1	8	63.5
合計	0	1	6	6	7	6	3	2	31	58.9

③ 障害者手帳障害等級

年齢 性別	1 級	2 級	精神障害者 保健福祉手帳	愛護手帳 A	合計
男性	19	3	1	0	23
女性	5	2	0	1	8
合計	24	5	1	1	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	黒石市	つがる市	平川市	中泊町	鶴田町	深浦町	鰺ヶ沢町	今別町	蓬田村	合計
男性	2	1	5	1	6	0	3	1	0	2	0	2	23
女性	1	0	1	0	0	1	2	1	1	0	1	0	8
合計	3	1	6	1	6	1	5	2	1	2	1	2	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R3 年度	0	0	0	0	0	0	2	1	3
R4 年度	0	0	0	0	0	0	2	2	4
R5 年度	0	0	0	1	0	0	1	0	2
R6 年度	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	0	0	0	1	0	0	6	4	11

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
男性	0	6	3	3	2	9	23
女性	0	1	1	1	1	4	8
合計	0	7	4	4	3	13	31

⑦ 障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
男性	0	0	0	1	4	18	23
女性	0	0	0	1	0	7	8
合計	0	0	0	2	4	25	31

平均障害支援区分 5.74

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者の短期入所事業及び介護保険法による基準該当短期入所（中泊町）を8床の定員で行っている。今年度は延べ2,412人の利用があり、前年比15人減となりました。令和7年1月からは短期入所8名満床と安定した短期入所利用となった。

2 利用状況 (延べ日数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者	169	186	185	183	195	193	190	220	215	230	224	242	2412
高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	169	186	185	183	195	193	190	220	215	230	224	242	2412
稼働率	70.4	75.0	77.1	73.7	78.6	80.4	76.6	91.7	86.7	92.7	100.0	97.6	83.4

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の中の一つのサービスで、日中障害福祉サービス事業所、障害者支援施設において、障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を目的とするものであるが利用はなかった。

2 利用状況

利用実績なし

医務

1 実施状況

- ① 内科嘱託医による年2回の定期健診の実施（採血1回/年検査含）
- ② 結核検診の実施
- ③ 感染予防対策の実施（ワクチン接種等含）・対策マニュアルの再確認
- ④ 職員の健康診断受診推進および健康管理への助言

2 評価

- ① 新型コロナウイルス感染症5類への引き下げに伴い、施設における感染症対策の見直し変更する。
- ② 令和6年度、入所利用者入院は8名。入院延べ日数121日。前年度より36日減少している。8名中、5名尿路感染症及び腎盂腎炎での入院であった。うち1名、5ヶ月以内に3回入院した。原因はいずれも尿路感染症であった。入院期間は9から14日程度であった。1名は長期で入院したが検査等で原因は尿管結石であった。いずれもバルーンカテーテル挿入利用者の方であった。取り扱いには十分注意していたが入院することになったため今後も尿路感染症にならないよう対応していきたい。
1名は胃瘻造設していたが経口摂取可能になり、本人の強い希望で胃瘻ボタン抜去のため入院にて抜去した。
速やかな治療ができるよう早期発見・早期受診に努め、長期入院の予防に努めたい。
- ③ 高齢化と障がいの重複により病気に対する抵抗力が低下してきている利用者が増えている。病気を発症・再発をすると急速に重症化しやすい傾向にある。そのため、病気特有の症状だけでの判断がつかないこともある。全身の状態を観察しながら対応していく。食事や水分の経口摂取が困難になってくる可能性が高くなっている方も増えているためその都度、対応策を主治医等と連携して検討していく。
- ④ 感染症に関しては、8月と12月に新型コロナウイルス感染症が利用者・職員に感染し感染拡大してしまった。感染症発症時の対応について、職員の知識不足な部分もあったため今後は感染症が発症しても感染拡大しないよう対応について再度、職員へ伝達していく。その他の感染症については職員及び職員の家族内で発生あるも施設内に持ち込まれることなく予防することできた。今後も感染症が発生しても最小限にとどめるよう努力し、感染症を施設に持ち込まないことと感染拡大の予防を徹底していく。
- ⑤ 職員の健康管理について、健康診断の受診を促し、要再検査項目については助言し体調管理に努めた。
体調不良による休養等はあったが当事者の状況把握に努め、適切な助言ができるよう努めた。今後も継続していきたい。

機能回復訓練「理学療法」

実施状況

① 機能回復訓練

隔月で理学療法士、福島真人氏が来園し、診察・指導・助言のもとに、月曜日から金曜日（午前・午後）までは専従の上田法訓練士と補助員、土曜日と日曜日は福祉課職員の協力を得ながら、主に上田法の施行。個別支援計画に沿った訓練を体調等に留意し実施。参加人数は施設入所者28名、ショートステイ利用者8名。上田法施行により過緊張を和らげ、関節可動域の拡大、腹部膨満の緩和、各関節拘縮予防効果が見られた

■ 福島理学療法士：延べ16名

② 補装具・自助具

各補装具の故障や破損、日常生活機能の変化等による補装具の購入・修理申請等の代行。また、自助具に関する相談、助言の実施。主な補装具は車椅子36名、下肢装具3名の利用者が日常生活で使用している。車椅子・短下肢装具の購入・修理申請等の代行。

- (1) 購入申請：車椅子1件
- (2) 修理交付申請：車椅子2件
- (3) 定期的座圧測定の実施、車椅子ブレーキ、張調整、パンク等の修理実施

③ 福祉機器及び介護用品

安心、安全な移乗を目的とし、福祉機器（床走行リフト）のメンテナンス等を定期的に実施。必要時、業者へ依頼し不備がないよう管理した。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

実施状況

- ① 他職種と連携し食事形態の見直しやとろみ付けの検討、実施を行った。
- ② 食前体操の実施で利用者の機能維持と気分転換を図った。
- ③ 発声発語の促しだけではなく、手指機能維持のため動作性訓練を取り入れ実施した。
- ④ 歯科衛生士との連携を図り、口腔内の状態について早期発見に努め対応を行った。

給食（内湯療護園）

実施状況

① バイキング食

利用者の嗜好や要望を取り入れたメニュー。年間行事やイベントに合ったメニューで季節を感じられるよう工夫し、バイキング食を楽しんで頂いている。

「実施日」：隔週木曜日の昼食 「実施回数」：令和6年度 23回

② 定食の日

バイキングのマンネリ化を解消するため、外食風メニューで楽しんで頂いている。

「実施日」：隔週木曜日の昼食 「実施回数」：令和6年度 27回

③ 選択食

2種類のメニューから好きな料理を選んで頂き、利用者に選ぶ楽しみを作り出せるように組み込んでいる。(主食・主菜のみ選択)

「実施日」：隔週火曜日の夕食 「実施回数」：令和6年度 27回

④ 丂の日

選択食のマンネリ化を解消するため、利用者から要望の多い丂メニューのバリエーションを増やして提供している。

「実施日」：隔週火曜日の夕食 「実施回数」：令和6年度 23回

⑤ 麺類の提供

「実施日」：毎週月曜日の昼食

暑さで食欲が落ちてしまいがちな時期には、麺類を1日増やして夏バテ、スタミナ不足にならないよう食事面からサポートしている。

⑥ 特別食・治療食

利用者の摂食状況、健康状態に合わせた食事の提供をしている。

「特別食」：ペースト食、ソフト食、刻み食

「治療食」：糖尿病食、痛風食、高脂血症食、ダイエット食

塩分を控えた食事の提供。出汁のうま味を活かした調理で薄味を心がけて減塩に努めている。

⑦ 災害食

非常事態に備え、食材の備蓄、災害時を想定した「災害食体験日」を設け食事の提供を行い、利用者、職員共に災害に対する意識を高めるように取り組んでいる。

「実施日」：不定期の昼食 「実施回数」：令和6年度 1回

⑧ 衛生管理

日 常	<ul style="list-style-type: none">・正しい手洗い、手指消毒の徹底・調理従事者の毎日の検温、健康、衛生チェック・衛生手袋、マスクの着用による調理、盛り付け、検食の保存・冷蔵庫、冷凍庫での温度管理をした食品保存・給食施設内温度及び湿度管理をした給食業務・加熱調理時の食品の中心温度管理・食品ごとの、まな板、包丁、ボール、ザル等用具の分別・配膳車、調理台、配膳台、取っ手の除菌・調理器具の洗浄、漂白・シンク、排水溝、床の清掃
-----	---

週間	・検収室、勝手口等の清掃及び食器棚、食品庫の整理整頓 ・冷蔵庫、冷凍庫、換気扇、洗浄機の清掃
月間	・検便（10月～3月ノロウイルス検査含む） ・ねずみ、虫害の駆除
年間	・サッシ、網戸の清掃及び大掃除

⑨ 行事食

4/20	お花見会 (施設内開催)	お花見弁当 ちりめん彩りご飯、梅ご飯、紅鮭、鶏の唐揚げ、ホタテフライ、だし巻玉子、菜の花辛子和え、筍土佐煮、苺、キウイ 桜餅、豚汁、ジュース
5/30	おやつの日	今川焼き、やわらか団子
6/2	おやつの日	たい焼き、やわらか団子
7/6	七夕定食	いなり寿司、天ぷら、冬瓜カニカマあんかけ、冷やし素麺、ケーキ
7/9	B B Q (中庭)	焼き肉、焼き鳥、ワインナー、海老塩焼き、焼きとうもろこし、焼きマシュマロ、みずの水物、おにぎり、ジュース
7/11	おやつの日	クレープ、絞るチーズケーキ
7/23	土用の丑の日	うなぎちらし寿司、天ぷら（海老、南瓜、茄子）、いんげんピーナツ和え、ホタテの味噌汁、生和菓子
8/13 8/14 8/15	お盆（夕食）	天丼、ホヤの水物、パイナップル、お吸い物、ジュース、お酒 ちらし寿司、豚の角煮、スイカ、しじみ汁、ジュース、お酒 牛カルビ丼、ホタテとエビのマリネ、メロン、お吸い物、ジュース、お酒
9/14	納涼祭 (施設前庭開催)	たこ焼き、焼き鳥、チーズフランク、焼きそば、大学芋、胡瓜一本漬け、しじみ汁、おにぎり、果物（ぶどう、梨）、ジュース
9/17	十五夜	さつまいも、南瓜、林檎、梨、ぶどう、日本酒
9/24	秋彼岸	おはぎ、やわらか団子
10/10	B B Q	焼きさんま、焼き肉、バラ焼き、焼きそば、南瓜バター焼き、おにぎり、枝豆、アップルパイ
10/29	おやつの日	パンブキンパイ、南瓜甘煮
10/31	寿司定食	握り寿司5貫（鮪、帆立、サーモン、蒸し海老、玉子）、天ぷら、ミニ蕎麦、茶碗蒸し、りんごゼリー
11/7	焼き芋会	焼き芋（紅はるか、安納芋、シルクスイート）
12/31	大晦日	昼食：年越しそば（海老天ぷら）、高菜漬けと豚肉の炒め物、オレンジゼリー 夕食：握り寿司（海老、鮪、鯖、蒸し海老、サーモン） おせち（伊達巻き、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、蒲鉾、いくら） 彩り野菜の煮物、なまこ、お吸い物
1/1 1/2 1/3	お正月	鰻蒲焼き、だし巻玉子、人参の子和え、胡麻豆腐、粥の汁、ジュース、お酒 天丼、菊の塩辛、茶碗蒸し、お吸い物、ジュース、酒 ちらし寿司、揚げ出し豆腐、南瓜の甘煮、しじみ汁、ジュース、お酒
1/15	鏡開き	お汁粉
2/3	節分定食	かき揚げ蕎麦、いなり寿司、サラダエッグロール、甘酢生姜、栗きんとん
2/4	餅つき会	小豆団子、よもぎ団子、やわらか団子
3/3	雛祭り	ちらし寿司、鶴天舞茸蕎麦、いちご
3/11	災害食体験日	レトルト野菜シチュー、ポテトサラダ缶、フルーツカクテル缶、味噌汁
3/18	春彼岸	草団子、やわらか団子

宮繕（内湯療護園）

実施状況

種類	作業内容	件数
修 繕	施設内外の不具合修繕：サッシ、排煙窓、建具、てすり、軒天、コールボタン、電気、トイレ、水回り、エアコン、換気扇、クロス張替え、掃除機、発電機、車両ほか	99件ほか
整 備	施設内外整備：草刈り、花壇整備、剪定、外壁・サッシ洗浄、コールボタン無線化工事、収納棚製作、タオルハンガー製作、水栓金具取り付け、防音カーテン取り付け、換気部材洗浄ほか	54件ほか
活 動	教養娛樂活動：模型展示	7件
	防災啓発活動：防災パック展示、災害食の試食会、BCP豆知識展示（週替わり） 地域貢献活動：ねぶた製作、運行、歩道草刈り、側溝泥上げ、大沢内涌き壺歩道整備	

行事・外出・レクリエーション

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	2日	利用者懇談会	18名		17名
	3日	お手玉・パズル・塗り絵	5名		6名
	16日	施設周辺散歩	6名		3名
	20日	ドライブ外出（金木芦野公園）	11名	1名	7名
	20日	お花見会	26名	27名	32名
	26日	シャボン玉・施設周辺散歩	6名		4名
	29日	魚釣りゲーム	6名		2名
	30日	ボウリング	7名		3名
5月	1日	ドライブ外出（ピュアにこいのぼり見学）	4名		3名
	2日	トランプ・カラオケ	4名		3名
	8日	パチンコ	5名		
	8日	利用者懇談会	15名		22名
	14日	パチンコ	6名		1名
	14日	書道	11名		2名
	15日	施設周辺散歩	5名		3名
	21日	パチンコ	5名		2名
	23日	パチンコ	4名		1名
	30日	パチンコ	4名		1名
6月	4日	利用者懇談会	16名		18名
	8日	パチンコ	7名		1名
	10日	ボウリング	6名		4名
7月	2日	利用者懇談会	11名		15名
	3日	買物外出（金木スーパーストア）	2名		2名
	9日	パチンコ	4名		1名
	10日	買物外出（金木スーパーストア）	2名		2名
	17日	外出（立佞武多の館）	2名		2名
	22日	外出（鶴のまどい）	1名		2名
	25日	外出（立佞武多の館）	3名		3名
	30日	外出（浅虫水族館）	3名		3名
8月	6日	利用者懇談会	17名		17名
	6日	買い物外出（金木スーパーストア）	2名		2名
	8日	ドライブ外出（市浦方面）	2名		2名
	20日	外出（立佞武多の館）	2名		2名
	29日	外出（立佞武多の館）	2名		2名
9月	14日	納涼祭	33名	37名	34名
	23日	魚釣り	3名		2名
	25日	ドライブ外出（車力フラット）	2名		2名
	26日	外出（立佞武多の館）	2名		2名
	27日	買い物外出（金木スーパーストア）	2名		2名
10月	3日	ドライブ外出（芦野公園）	2名		2名
	8日	パチンコ大会	9名		1名
	14日	利用者懇談会	18名		18名

	16日	手工芸	2名		2名
	17日	買い物外出（金木スーパーストア）	2名		2名
	23日	手工芸	3名		2名
	31日	手工芸	3名		2名
	31日	ハロウィーン仮装撮影会	18名		3名
11月	12日	手工芸	2名		2名
	12日	利用者懇談会	16名		16名
	16日	手工芸	2名		2名
	17日	手工芸	3名		2名
	19日	パチンコ	7名		2名
12月	3日	利用者懇談会	21名		18名
	5日	パチンコ	6名		2名
	12日	トランプ	3名		3名
	12日	パチンコ	6名		1名
	19日	クリスマス会	0名		0名
1月	28日	書初め大会	10名		1名
	28日	パチンコ	6名		1名
2月	4日	豆まき会	30名		25名
	4日	節分・餅つき会	30名		25名
	6日	利用者懇談会	16名		21名
	13日	パチンコ	8名		1名
3月	4日	ひな祭り・うちがた喫茶	30名		12名
	4日	利用者懇談会	17名		24名

※ 新型コロナウイルス感染症が流行し、レク活動ができなかつた月もありました

※ その他にホールや玄関に季節の飾りつけ、昼食メニューボード作成、トランプ、花札、麻雀、魚釣り、パチンコ等行っています

※ クリスマス会…施設内新型コロナウイルスが流行し中止となる。昼食にはクリスマスメニュー、ケーキ、ジュースを提供する。

第二うちがた 福祉課 生活支援

1 実施状況

- ① 感染症対策を継続しながらではあったが、外出ができる環境を整え、アンケートを実施しニーズにあった支援を提供した。4月には、お花見会で、家族参加ができる行事を復活し、久しぶりに家族との時間を共有することができた。秋祭りでは、家族・地域住民・催し物にゲスト出演して頂いた皆さんと大勢の人が集まり、楽しい時間を過ごし、コロナ禍前の賑わいが戻り安心できた。マンネリ気味の施設生活に活気が戻った1年であった。また、医療的ケアを必要とする生活介護利用者（通所）が、安心して過ごせるようショートステイ等の空き部屋を活用するなど工夫したサービス提供を継続した。
- ② 加齢による機能低下や疾病の重症化による入院が見られている。病変への早期対応や空床が続かないように、地域ニーズ把握し、相談支援事業所との連携と共に、情報収集・情報提供に努めた。
- ③ 職員のスキルアップを図るため、積極的に派遣研修へ参加した。また、オンラインでの研修や外部講師を依頼した施設内の勉強会などを実施した。
- ④ 利用者からのニーズが高い医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修に1名（第二号研修）、認定特定行為業務従事者として認定を受けることができた。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	925	961	930	961	961	930	961	925	930	876	817	959	11,136	928	71
入院日数	5	0	0	0	0	0	0	5	11	54	51	2	128	10.7	▲108
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率	102.8	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	103.3	102.8	100.0	94.2	97.3	103.1		101.9	
生活介護	638	663	639	665	663	636	667	637	640	627	558	674	7,707	642.3	57
(在宅)	125	118	110	131	122	114	125	110	106	115	103	106	1,385	115.4	9
稼働率	115.6	113.2	113.5	115.4	113.8	113.6	114.8	113.2	108.1	107.5	110.2	113.0		112.7	

※定員 30名

※（在宅）：在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計	平均
男	3	2	3	2	4	6	2	1	23	56.4
女	0	0	0	3	2	1	1	1	8	65.3
合計	3	3	3	5	6	7	3	1	31	58.7

③ 身体障害者手帳障害等級

年齢 性別	1級	2級	3級	合計
男性	20	1	1	22
女性	8	0	0	8
合計	28	1	1	30

④ 知的障害者手帳障害等級

年齢 性別	A	B	C	合計
男性	2	2	2	6
女性	2	0	2	4
合計	4	2	4	10

⑤ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	つがる市	鶴田町	深浦町	板柳町	鰺ヶ沢町	外ヶ浜町	合 計
男性	1	1	6	6	1	1	2	4	1	23
女性	1	0	3	1	2	0	0	1	0	8
合計	2	1	9	7	3	1	2	5	1	31

⑥ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合 計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R4 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R5 年度	0	0	0	1	1	0	0	1	3
R6 年度	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	0	1	1	0	1	1	4

⑦ 在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合 計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
男性	1	3	1	5	4	9	23
女性	0	0	1	2	1	4	8
合計	1	3	2	7	5	13	31

⑧ 障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
男性	0	0	0	1	3	19	23
女性	0	0	0	0	1	7	8
合計	0	0	0	1	4	26	31
平均障害支援区分							5.8

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者・障害児の短期入所事業を 8 床の定員で行ってきた。本年度は 15 名（うち新規利用者 6 名）の方を受け入れ、延べ 1,984 人の利用があった。前年比 85 人減である。

- ① 施設等への入所希望をした長期利用が 5 名、在宅で他のサービス（生活介護・就労継続支援）と組み合わせ利用されている方が 10 名（うち入所待機 4 名）いた
- ② 長期・安定的な利用者の大半が、日中活動として施設の生活介護やひだまり工房、他事業所へ通い余暇を過ごし、その人らしい生活を送っている
- ③ 入所待機していた長期利用のうち 1 名が施設入所となっている
- ④ 新規利用相談 6 名の受け入れに対応し、うち 1 名は施設の生活介護利用者である
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、利用者・家族の理解、協力のもと安心・安全なサービスを行った。

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	149	145	131	186	189	191	188	151	169	184	144	157	1,984
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	149	145	131	186	189	191	188	151	169	184	144	157	1,984
平均	4.9	4.6	4.3	6	6	6.3	6	5	5.4	5.9	5.1	5	5.3
稼働率	62.0	58.4	54.5	75.0	76.2	79.5	75.8	62.9	68.1	74.1	64.2	63.3	67.8
うち生活介護等利用者	37	28	18	31	26	33	29	12	17	33	35	35	334

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業「日中一時支援」におけるサービスを提供している（五所川原市・つがる市）が、令和6年度は利用がなかった。

医務

1 実施状況

- ① 年2回の基本健診、利用者全員の結核検診
- ② 感染予防対策の実施・指導・研修
- ③ 喀痰吸引の実地研修
- ④ 職員の健康管理についてアドバイス、指導、記録
- ⑤ 利用者・職員のコロナワクチン、インフルエンザワクチンの接種
- ⑥ 県看護協会主催の感染症対策研修

2 評価

- ① 入院の延べ日数は、128日と昨年度より、108日減となった。利用者の高齢化に伴い、救急外来受診や入院の回数は増えている状況である。引き続き、日頃からの十分な様子観察を行い、早期発見や治療に繋げることができるように努めている。
- ② 喀痰吸引等制度に基づき実地研修を行い、第二うちがた職員1名が取得した。今後も医療的ケア（痰吸引）の取組みに努め継続していく。
- ③ 感染症対策も引き続き継続し、日頃から研修などで学びの機会を作り、最新の対応ができるようにしている。

機能回復訓練「理学療法士」

① 機能回復訓練

一人ひとりの障がいや要望、体調に応じて気軽に参加できる訓練を心がけ、日常生活動作訓練、運動療法を継続的に行っている。隔月で理学療法士福島真人先生による指導、助言をもとに、上田法を主体として自動運動や他動運動、可動域訓練、起立装置を用いた起立訓練、ポジショニングなどを各部署の協力を得ながら実施。訓練参加者は26名（施設入所者21名、ショートステイ1名、通所4名）で過緊張や痙攣の緩和や維持効果がみられ、関節可動域の減少予防等にも効果がありました。

② 補装具・自助具

補装具の故障や破損、身体機能の変化により補装具の交付申請・修理申請を代行し、補装具に関する相談や助言を実施。主要な補装具は車椅子（電動式を含む）で、現在39名の利用者が日常生活で使用している。主に新規車椅子の製作、座布、シートの交換、修理等である。

- (1) 交付申請（再交付含む） 車椅子 1件 車椅子座布 1件 日常生活用具 1件
- (2) 修理申請 車椅子 9件 体幹装具 1件 下肢装具 2件
- (3) その他 申請以外にも小さな修理や利用者に合った自助具の購入等支援・助言も行っている。

③ 福祉機器及び介助用具

- (1) 安心・安全な介護と業務の省力化を目的とし、利用者が快適な生活を送ることができるよう介護用品の選定や工夫を行った。
- (2) 福祉機器の定期点検・修理（ベッド、床走行リフト、コールボタン等）を隨時行った。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

- ① 嘔下訓練の一環として口腔ケアを積極的に行い、誤嚥性肺炎の予防に努めた。
- ② 歯科衛生士の指導のもと一人ひとりに合わせた物品を準備し、介護部と情報を共有、口腔ケア手順書の作成と周知を図った。
- ③ 口腔ケア委員会と協力し、物品の補充や注文、また利用者の口腔状態の維持のため、食前の口腔体操の継続に努めた。
- ④ 多職種の意見や情報をもとに、食事形態やトロミ剤の見直しなど調整を行った。

給食（第二うちがた）

実施状況

利用者の声に耳を傾け、食事が楽しみになるような手作りで愛情のこもった食事作りを心がけた。

① 軟菜食の実績

介護・医務・給食の連携により、一人ひとりの栄養状態・身体状態・本人の食欲などを検討し、軟菜食を提供することができた。

② 療養食の実施

健康状態に合った食事提供が、健康管理に係ることができた。

療養食の種類と人数（入所支援）

種類	糖尿病	脂質異常症	その他	合計
人数	6名	1名	0名	7名

③ バイキング食

利用者の様々な嗜好を給食部全員で把握し、全体メニューにできないどんな小さな要望であっても、その結果をできるだけ早く献立に取り入れるように対応した。旬の食材を取り入れるようにした。

「実施日」：毎週木曜日の昼食 「実施回数」：令和6年度 34回

④ 選択食

2種類の献立の写真を見てもらい、その中から好きな料理を口頭や指さしなどで選択していただいている。利用者との関わりを持ちながら、選ぶ楽しみを感じ、嗜好も知ることができる。

(主食・主菜のみ)

「実施日」：毎週火曜日の昼食 「実施回数」：令和6年度 47回

⑤ 麺類

利用者からの「麺類をもっと食べたい」という要望に応え、対応している。

「実施日」：毎週水曜日の昼食 「実施回数」：令和6年度 48回

⑥ ひだまり工房の食事（昼食）

職員を通して、利用者の要望と嗜好の把握に努めている。年度途中から、検食を実施し、さらにより良い食事の提供を心掛けている。

■ 実施日：月曜日～土曜日 ■ 料理：一汁三菜 ■ 麺類：毎週水曜日

■ 特別食・治療食：利用者の摂取状況に合った食事提供（お粥食・代替食・治療食）

■ 行事食：旬の食材を提供

⑦ 行事食

令和6年度の行事食

月日	行事	主な料理
4/21	春の昼食会	おにぎり・焼き鳥・おでん・焼きそば・フランクフルト・ジュース
7/6	七夕	おにぎり・牛カルビ・ホタテ貝焼き・ほっけの塩焼き・焼きそば・やきとり・フランクフルート・パイナップル・ジュース
8/13～15	お盆	エビフライ・ヒレカツ・チキンマスター・サラダ・なます・うなぎ・天ぷら・豚肉マリネ・昆布巻き
9/29	十五夜	鉄火丼・茶碗蒸し・金時豆
10/5	秋祭り	おにぎり・牛カルビ・えびの塩焼き・ホタテ貝焼き・焼きそば・フランクフルト・ジュース
11/2	お寿司の日	お寿司・鶏のから揚げ・トマトサラダ・焼うどん・ジョア・しじみ汁
12/24	クリスマス会	寿司・お刺身・牛ステーキ・鶏のから揚げ・ピザ・エビフライ・スパゲティ・コーンスープ
12/31	大晦日	寿司・人参の子和え・黒豆・白子味噌汁
1/1	お正月	鉄火丼、煮しめ、茶碗蒸し、うなぎ
1/2		ローストビーフ・かまぼこ・だて巻き・ホタテ照り焼き・昆布巻き・いくら・栗きんとん・けの汁
1/3		うなぎ、茶碗蒸し、なます
3/2	ひな祭り	ちらし寿司、菜の花のからし和え、ケーキ

⑧ 衛生管理

日 常	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生手袋、盛りつけ、検食の保存 ・冷凍庫、冷蔵庫の温度管理 ・給食施設内温度、湿度管理 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール等の用具の分別 ・洗浄・漂白 ・調理台、配膳台、シンク、床の掃除 ・取っ手の除菌
週 間	<ul style="list-style-type: none"> ・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の掃除 ・食器棚、食品庫の整頓
月 間	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫、冷蔵庫の清掃 ・検便
年 間	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除（2回） ・サッシ、網戸の掃除 ・ねずみ、昆虫の駆除

しあわせセンターうるしかわ

福祉総合相談センター

実施状況

社会福祉法人内湯療護園の理念のもと、人との「つながり」を大切にしながら、地域に身近な「福祉よろず相談所」として総合相談支援を実施した。新規依頼や直接的な相談対応はなかったが、地域住民への周知を目的として、ホームページにて総合相談に関する情報の掲載を行った。ホームページを通じて、相談窓口の案内などを発信し、地域と福祉をつなぐ役割を果たすべく、相談につながるきっかけづくりにつとめた。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1 実施状況

① 指定一般相談支援事業

地域生活支援事業における障害者相談支援事業を五所川原市、つがる市、中泊町より事業を受託し、実施した。利用者や家族に対して福祉制度に関する説明や地域資源の紹介、関係機関との連絡調整などを通じ、円滑なサービス利用につなげた。令和6年度も地域移行支援および地域定着支援の新規対象者はなかったが、地域移行を進める保健所の会議へ出席し、西北五圏域での取り組みには積極的に協力した。

② 指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

西北五管内の2市4町（五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、鰺ヶ沢町、深浦町）のほか、管外市町の利用者に対し、今年度も主任相談支援専門員を中心に相談支援専門員3名体制（1名は兼務）でサービス等利用計画の新規作成や変更、定期的なモニタリングを実施した。計画作成に対しては、他の相談支援事業所からの移行ケースも積極的に引き受けた。行政や福祉サービス事業所の他、保育、教育機関と連携し、統一した支援につなげることができた。令和6年度は、220名（うち障害児は25名。年度内の終了件数を含む）の支援を行った。

③ その他

今年度も、つがる市及び五所川原市より障害支援区分認定調査を受託し、実施した。また所属しているつがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会や研修会へ参加し、質の向上につとめた。その他、医療的ケア児等コーディネーターとして保健所と連携をはかりながら支援を実施するとともに、生活困窮者自立支援窓口とも連携し、関係機関との協働による支援体制の構築につとめた。また今年度も圏域内の市町および主任相談支援専門員と連携し、相談支援従事者現任研修のインターバル実習の対応を行い、地域の相談体制の質の向上に協力した。BCP（事業継続計画）の計画内容については見直しを行い、今後の訓練実施に向けた体制の確認を行った。

2 利用状況

① 相談方法（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

△	訪問	来所	電話（メール含）	その他	合計
五所川原市	323	11	254	20	608
つがる市	250	12	130	12	404
中泊町	118	2	105	20	245
鶴田町	46	1	26	3	76
鰺ヶ沢町	38	0	5	0	43
深浦町	14	0	1	6	21
その他	41	0	5	5	51
件数	830	26	526	66	1,448

② 相談者区分別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	本人	家族	関係機関	その他	合計
五所川原市	347	162	11	88	608
つがる市	268	60	21	55	404
中泊町	138	32	9	66	245
鶴田町	43	14	1	18	76
鰺ヶ沢町	37	0	0	6	43
深浦町	12	1	0	8	21
その他	41	2	0	8	51
件数	886	271	42	249	1,448

③ 相談内容別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	障害福祉サービスの利用について	障害や病状の理解について	健康・医療について	その他	合計
五所川原市	536	5	19	48	608
つがる市	360	3	27	14	404
中泊町	217	3	11	14	245
鶴田町	75	0	0	1	76
鰺ヶ沢町	43	0	0	0	43
深浦町	18	0	0	3	21
その他	50	1	0	4	51
件数	1,299	12	57	80	1,448

④ サービス等計画作成件数（新規契約済件数）

	五所川原市	つがる市	鶴田町	中泊町	その他	合計
障がい者	8	5	3	4	0	20
障がい児	3	0	0	0	0	3

⑤ 障害者支援区分認定調査実施状況

	視覚障害	内部障害	脳性麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	頸髄損傷	筋ジストロフィー	知的障害	精神障害	その他	合計
つがる市	男	1	4	3	4	0	0	1	1	3	20
	女	0	2	4	0	1	0	0	2	0	12
五所川原市	男	2	2	4	2	0	2	0	6	2	22
	女	0	2	2	2	0	0	0	5	3	16

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1 実施状況

地域の中で気軽に利用できる「みんなのひろば」として運営している。令和5年度に新型コロナウイルスが「5類感染症」へ移行となっているが、感染予防対策は継続していたため、外部への貸し出しは自粛していた。周知活動についても、法人ホームページへの掲載のみとなっている。

2 利用状況

令和6年度も法人内の会議や研修に対する貸し出しのみとなっており、外部への貸し出しは実施していないため、実績はない。

ケアホームうるしかわ

1 実施状況

- ① 自己決定を尊重しながら、日常生活全般において利用者が主に日中利用しているひだまり工房と連携しながら安心・安全・快適に日々の生活を送れるよう支援した。
- ② 第二うちがたのバックアップのもと、利用者の健康管理や感染予防に努め、今年度も利用者の入院等重症化することなく過ごすことができた。また、疾病時や定期受診等の通院の支援を実施した。疾病や怪我などの緊急の受診対応が増えてきている状況である。
- ③ 洗濯・掃除等、日常生活における家事については、利用者個々の状態に合わせ、自分でできる事とできない事を見極めながら支援の見直しを行っている。
- ④ 利用者が安心・安全に生活できるよう、補装具の故障や破損、また必要に応じて修理申請の代行なども実施した。
- ⑤ 買い物外出ができなかつたため、イベント時の食事に変化を付けるなどの工夫をして楽しんでいただいた。
- ⑥ 職員のスキルアップを図るための研修参加や、感染症予防対策強化のためにコロナ感染症の対応再確認やノロウィルス感染症対応時の勉強会を実施した。

2 利用状況

① 年 齢

年齢 性別	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70 以上	合 計	平 均
男性	0	0	0	1	3	1	5	65.4
女性	0	0	0	1	3	1	5	64.0
合計	0	0	0	2	6	2	10	64.6

② 障害支援区分

区分 性別	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均
男性	0	0	1	3	1	5.0
女性	0	0	0	3	2	5.4
合計	0	0	1	6	5	5.2

③ 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用人数	300	310	300	310	310	300	308	300	310	310	280	310	3,648	10
稼働率%	100	100	100	100	100	100	99.3	100	100	100	100	100	99.9	0.6

ひだまり工房

1 実施状況

- ① 喫茶「ひだまり」では、かき氷・ドリップコーヒー・季節に合わせたおやつの提供をした。また、利用者の方々が参加し、手作りパフェ作りを実施。手作りの楽しさと美味しさを味わい喜ばれている。
- ② 買い物外出については、5月から10月の期間に実施。希望した外出先での買い物ができ、利用者の方々のリフレッシュに繋げることができた。
- ③ 創作活動を積極的に行い、青森県立美術館「ありのままの表現展」に出品。個人・共同制作の作品を披露する機会を設けることで、次回の作品作りの意欲に繋がっている。
- ④ 第二うちがた主催のまつりへの参加や、バイキング形式の食事の提供で普段とは違う雰囲気を味わっていただいた。
- ⑤ 職員のスキルアップを図るため、各研修会（オンライン研修含む）へ参加。また、感染症予防対策のための勉強会を実施した。

2 利用状況

① 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	訓練	合計
男性	0	1	2	1	3	4	1	12
女性	0	0	2	0	4	3	0	9
合計	0	1	4	1	7	7	1	21

② 年齢別状況

	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	合計
男性	0	0	1	2	3	5	1	12
女性	0	0	0	1	1	6	1	9
合計	0	0	1	3	4	11	2	21

③ 利用状況

	延べ利用者数			稼働日数	1日平均利用者数
	生活介護	自立訓練	合計		
4月	311	13	324	26日	12.4
5月	342	12	354	27日	13.1
6月	319	12	331	25日	13.2
7月	348	13	361	27日	13.3
8月	318	13	331	26日	12.7
9月	321	12	333	25日	13.3
10月	330	13	343	27日	12.7
11月	306	13	319	26日	12.2
12月	301	11	312	26日	12.0
1月	278	12	290	24日	12.0
2月	282	11	293	24日	12.2
3月	288	13	301	25日	12.0
合計	3,744	148	3,892	308日	
月間平均	312	12	324	25日	12.5

行事・外出・レクリエーション

① 第二うちがた

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	2日	喫茶「もどき」	16名		1名
	2日	懇談会	21名		8名
	4日	花札の会	3名		1名
	4日	麻雀クラブ	4名		1名
	6日	書道クラブ	7名		1名
	11日	軽作業	3名		1名
	11日	麻雀クラブ	4名		1名
	13日	コンビニ外出	4名		2名
	18日	出前の日	18名		
	21日	お花見会	20名	14名	25名
	25日	麻雀クラブ	4名		1名
	27日	紙芝居読み聞かせ	13名		1名
	27日	コンビニ外出	1名		1名
	30日	買い物外出	2名		2名
5月	1日	尊富士パレード見学	3名		3名
	5日	麻雀クラブ	4名		1名
	5日	軽作業活動	4名		2名
	4日	園芸クラブ外出	2名		2名
	9日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	花札の会	4名		1名
	11日	書道クラブ	9名		1名
	16日	ドライブ外出	2名		2名
	16日	麻雀クラブ	4名		1名
	18日	買い物外出	2名		2名
	21日	ドライブ外出	2名		2名
	23日	コンビニ外出	4名		2名
	25日	紙芝居読み聞かせ	7名		5名
	28日	ドライブ外出	2名		2名
	28日	喫茶「もどき」	16名		1名
	30日	軽作業	3名		1名
6月	1日	ドライブ外出	2名		2名
	6日	麻雀クラブ	4名		1名
	8日	書道クラブ	7名		1名
	11日	買い物外出	2名		2名
	12日	ドライブ外出	2名		2名
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	13日	軽作業活動	3名		1名
	13日	ドライブ外出	2名		2名
	15日	ドライブ外出	1名		1名
	15日	カラオケクラブ	6名		1名
	20日	避難訓練	19名		10名
	22日	紙芝居読み聞かせ	9名		2名
	25日	ゲームセンター外出	1名		1名
	25日	懇談会	24名		14名
	25日	喫茶「もどき」	21名		2名
	27日	利用者の会主催「BBQ会」	28名		16名
	29日	コンビニ外出	2名		2名
7月	2日	ドライブ外出	2名		1名
	4日	軽作業活動	2名		2名
	4日	麻雀クラブ	4名		1名
	6日	書道クラブ	10名		1名
	9日	買い物外出	2名		2名
	11日	麻雀クラブ	4名		1名
	13日	カラオケクラブ	8名		1名
	16日	喫茶「もどき」	15名		1名
	18日	救急救命講習（五所川原市消防署）			7名

	20日	紙芝居読み聞かせ	12名	8名
	23日	コンビニ外出	2名	2名
	25日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名	
8月	1日	救急救命講習（五所川原市消防署）		7名
	3日	キヤップアート製作	3名	1名
	6日	懇談会	18名	9名
	6日	喫茶「もどき」	13名	1名
	6日	立佞武多見学	6名	6名
	8日	麻雀クラブ	4名	1名
	10日	書道クラブ	7名	1名
	15日	麻雀クラブ	4名	1名
	17日	カラオケクラブ	6名	1名
	30日	紙芝居読み聞かせ	17名	1名
9月	3日	懇談会	22名	10名
	3日	喫茶「もどき」	20名	1名
	5日	麻雀クラブ	4名	1名
	7日	書道クラブ	10名	1名
	12日	麻雀クラブ	4名	1名
	14日	カラオケクラブ	6名	1名
	19日	お楽しみ食事会「出前の日」	18名	
	20日	麻雀クラブ	4名	1名
	21日	紙芝居読み聞かせ	11名	1名
	1日	喫茶「もどき」	15名	1名
10月	1日	懇談会	23名	11名
	3日	麻雀クラブ	4名	1名
	5日	秋祭り	第二うちがた 33名 在 宅 6名 ケアホーム 10名 ひだまり工房 3名	60名 来 賓 25名 催し物参加者 43名 43名
	8日	買い物外出	2名	2名
	10日	麻雀クラブ	4名	1名
	10日	買い物外出	2名	2名
	12日	書道クラブ	6名	1名
	15日	ドライブ外出	2名	2名
	19日	カラオケクラブ	7名	1名
	24日	買い物外出	2名	2名
11月	26日	コンビニ外出	2名	2名
	26日	紙芝居読み聞かせ	11名	1名
	29日	買い物外出	2名	2名
	31日	避難訓練	18名	6名
	5日	喫茶「もどき」	18名	1名
	7日	麻雀クラブ	4名	1名
	9日	書道クラブ	7名	1名
	12日	利用者の会主催「焼き芋食べようの日」	12名	2名
	14日	麻雀クラブ	4名	1名
	16日	カラオケボックス	4名	1名
12月	21日	麻雀クラブ	4名	1名
	21日	お楽しみ食事「出前の日」	15名	
	23日	紙芝居読み聞かせ	9名	1名
	23日	コンビニ外出	2名	1名
	30日	軽作業「クリスマス会のゲームで使用する新聞紙のボール製作	6名	1名
	3日	懇談会	21名	12名
	3日	喫茶「もどき」	20名	1名
	5日	麻雀クラブ	4名	1名

	7日	書道クラブ	7名		1名
	14日	カラオケクラブ	8名		1名
	21日	紙芝居読み聞かせ	10名		1名
	24日	クリスマス会	20名		21名
1月	7日	喫茶「もどき・ミスドたべようの会」	18名		1名
	9日	麻雀クラブ	4名		1名
	11日	書道クラブ	7名		1名
	16日	麻雀クラブ	4名		1名
	18日	カラオケクラブ	6名		1名
	28日	新年を祝う会	23名		20名
	30日	麻雀クラブ	4名		1名
2月	1日	書道クラブ	8名		1名
	4日	豆まき会	19名		2名
	6日	麻雀クラブ	4名		1名
	8日	カラオケクラブ	6名		1名
	11日	懇談会	20名		9名
	11日	喫茶「もどき」	16名		1名
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	手作りおやつの日	19名		3名
	22日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
	25日	軽作業活動	4名		1名
	27日	お楽しみ食事「出前の日」	18名		
	1日	「お雛祭り」	10名		1名
	4日	喫茶「もどき」	12名		1名
3月	6日	麻雀クラブ	4名		1名
	8日	書道クラブ	9名		1名
	11日	BCP訓練・「防災食をたべてみよう」	23名		12名
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	カラオケクラブ	8名		1名
	20日	麻雀クラブ	4名		1名
	22日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
	27日	お楽しみ食事「出前の日」	18名		
	29日	軽作業活動	4名		1名

※ 他に個別レクにて、漢字パズルや塗り絵、トランプやゲームを楽しんでいる。

※ 大ホールの大画面テレビにて、口腔ケア体操を毎日実施。その他、アニメ・YouTubeにて歌謡曲を聞いている。

② ひだまり工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	25日	屋台風バイキング	14名		10名
	21日	買い物外出	4名		4名
	23日	買い物外出	2名		2名
	24日	買い物外出	2名		2名
	28日	買い物外出	1名		1名
	29日	買い物外出	2名		2名
5月	30日	買い物外出	1名		1名
	12日	避難訓練	16名		6名
	13日	手作りクレープ	12名		8名
	24日	買い物外出	1名		1名
	25日	買い物外出	1名		1名
	27日	買い物外出	2名		2名
6月	28日	買い物外出	1名		1名
	1日	買い物外出	2名		2名
	2日	買い物外出	1名		1名
7月	3日	買い物外出	3名		3名
	5日	買い物外出	2名		2名
	6日	買い物外出	1名		1名
	9日	買い物外出	2名		2名
	10日	買い物外出	1名		1名
	18日	買い物外出	1名		1名
9月					

10月	5日	秋まつり参加	3名 (住宅利用者)		9名
	15日	買い物外出	2名		2名
	16日	買い物外出	1名		1名
	18日	買い物外出	1名		1名
	21日	買い物外出	2名		2名
	22日	買い物外出	1名		1名
	22日	避難訓練	12名		8名
	23日	買い物外出	2名		2名
	24日	買い物外出	1名		1名
	29日	買い物外出	1名		1名
	11月	7日 買い物外出	2名		2名
	13日	焼き芋会	14名		9名
12月	21日	クリスマスパーティー	14名		9名
2月	4日	節分（豆まき）	14名		7名
3月	13日	手作りパフェ作り	13名		8名

③ ケアホーム

月	行事名	内 容
4月	外出	花見ドライブ外出
	花寄せ植え	プランターへの花の寄せ植え
6月	避難訓練	火災を想定した避難訓練
7月	BBQ	日常と違う雰囲気での食事を楽しむ
10月	秋祭り	地域の方と交流を行う
	避難訓練	火災を想定した避難訓練
12月	クリスマス会	料理でクリスマスを楽しむ
1月	お正月	お正月料理を楽しみながらゆったりお正月を過ごす
2月	節分	季節を感じていただきながら、季節行事の食事を楽しむ
3月	ひな祭り会	春らしい食事を楽しむ

内湯療護園相談センター

サービス区分

1 実施状況

令和6年度事業計画に基づき、支援を必要とする高齢者が安心して暮らすことができるよう、制度の枠にとらわれず、ニーズに応じた多面的な相談業務を実施した。

週1回のミーティングにより情報共有。さらには24時間の電話対応により休日や夜間の電話相談にも対応した。

① 居宅介護支援・介護予防支援

一人ひとりのニーズに則した居宅介護サービス計画書を作成するとともに、サービス事業所や病院との連絡調整、担当者会議等を実施した。

② 要介護認定に係る訪問調査

中泊町や五所川原市、他市町村から要介護認定調査を受託して実施した。

③ 研修参加

介護支援専門員としての資質向上を目指し、事業所内外の研修や勉強会に参加した。また、外部研修に参加した場合は伝達研修を実施した。

④ 介護支援専門員実務研修受け入れ協力事業所への登録

介護支援専門員実務研修における「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」に関する実習受け入れ協力事業所として登録しており、1名の実習生の受け入れを行った。

⑤ 感染予防対策

法人から出される感染症対策確認事項に沿ってサービス提供を実施した。勤務前の検温や手洗いうがいの徹底はもちろんのこと、訪問前後の手指消毒等も実施した。

⑥ その他

住宅改修に係る意見書の作成。

ホームページ等で情報発信することで、来所される家族・電話での相談、令和6年度も病院から直接事業所への相談もあった。その他、関係機関との連絡調整はもちろんのこと、緊急時の受診の付き添いや援助などもニーズに合わせて支援した。

2 事業実績

① 要介護度別利用者構成

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	0	0	10	12	2	4	0	29
女性	7	0	6	21	13	3	1	2	53
合計	8	0	6	31	25	5	5	2	82

② 新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	6	4	2	2	3	3	4	3	2	5	9	47

③ 介護認定調査委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	4	9	3	9	5	7	9	10	7	8	8	87

内湯療護園デイサービスセンター

1 実施状況

- ① 住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、入浴・食事・排泄、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供した。
- ② 機能訓練指導員による上田法を中心とした個別プログラムに沿った機能訓練を実施している。また、訓練室に滑車運動、ペダル漕ぎ運動、ハドマー（波形型エアマッサージ器）・訓練用階段を設置することにより、利用者が自主運動を積極的に取り組み、機能維持できるよう配慮している。
- ③ 食事を美味しく、楽しく、安全に食べていただくことができるよう、昼食前の口腔体操を継続して実施している。また、給食部門とも連携し、選択食や行事食、イベント等を実施することで利用者に喜んでもらうことができた。
- ④ コロナ禍における感染対策徹底のもと、希望利用者を対象に花見や買い物外出を実施し、好評を得た。高齢化、独居世代の増加により、買い物外出のニーズが多くいため継続していく。
- ⑤ 感染防止対策の実施として、送迎時の検温、マスクや擦式手指消毒剤を活用し、外部からの感染防止を図った。事業所内では換気や空気清浄機を設置し、でき得る対策を最大限実施し運営を継続した。
- ⑥ 地域貢献・自主防災の一環で薄市地区・若宮地区の消火栓周辺の除雪作業を行った。

2 利用状況

① 介護保険被保険者

(延べ人数)

	介護保険被保険者									平均 要介護度	計	稼働日数
	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他			
4月	73	40	111	239	125	33	9	2	8	1.2	640	26
5月	90	49	100	252	138	37	2	8	8	1.3	684	27
6月	74	42	107	236	161	32	0	8	7	1.3	667	25
7月	77	53	119	245	169	40	8	5	9	1.3	725	27
8月	67	51	104	245	177	44	8	6	8	1.3	710	26
9月	64	52	94	273	170	40	9	10	9	1.3	721	26
10月	92	59	104	270	165	37	13	9	8	1.3	757	27
11月	60	44	78	197	121	28	17	9	8	1.4	555	22
12月	69	49	82	255	150	27	16	5	9	1.3	662	25
1月	66	51	82	238	151	55	8	7	8	1.4	666	24
2月	65	58	91	206	172	64	8	9	8	1.4	681	24
3月	76	56	97	223	172	82	9	7	7	1.5	729	26
合計	873	604	1,169	2,879	1,871	519	107	85	97	1.3	8,197	305

② 障害者総合支援法による利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	12	12	9	12	10	11	13	9	11	11	9	12	131
機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	12	9	12	10	11	13	9	11	11	9	12	131

③ 介護度・区分別登録者数

年齢	~64		65~69		70~74		75~79		80~84		85~89		90~94		95~		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	8	1	7	0	1	3	20
要支援1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	2	0	0	3	5
要支援2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	2	1	4	0	1	4	11
要介護1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	6	3	9	4	5	0	0	9	22
要介護2	0	0	0	1	3	0	2	0	3	0	2	1	0	3	0	1	10	6
要介護3	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	4	3
要介護4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	1	0	2	1	4	0	7	6	8	12	8	24	6	24	0	3	106	

内湯療護園ホームヘルプセンター

サービス区分

1 実施状況

- ① 季節ごとに感染症予防や健康・生活に関する注意喚起を行い、利用者の健康な生活維持に努めた。その他、生活に関わることは関係機関と連携・協力し、利用者一人ひとりの生活を豊かにすることことができた。特に感染症予防について徹底し、訪問前後に手指消毒、訪問毎にマスクを交換する等の対応をしながら訪問を実施した。
福祉ホーム入居者でコロナ陽性者が出て外部訪問が中止になったこともあったが、最小限におさまり、訪問を再開することもできていた。
- ② 福祉ホーム入居者は高齢化・重度化が進み、身体機能の低下や認知機能の低下がみられてきた。低下している原因を分析、ミーティングで話し合い、関係機関へ情報発信。利用者本人が自立した生活ができるようサービス事業所や関係機関と連携し、支援を実施した。
- ③ 在宅サービス利用者は個別性を重視。その人らしく生活ができるよう、関係機関へ情報を発信したり、相談・報告しながら支援を実施した。また、職員一人ひとりがスキルアップするため、研修を計画した。オンラインでの研修会への参加や職員自らが講師となり、職場内研修を実施して啓発に努めた。
- ④ 職員が安全・安心して訪問が行えるよう、定期的にミーティングを開催し、業務内容を見直した。特に、うちがた工房とは密に連携を取り合い、月1回ミーティングを開催。業務内容の見直しや提案・改善をした。
BCP発動の訓練やマニュアルの見直し、きりん館との合同の避難訓練にも参加し、災害時や感染症に備えた。また、身体拘束・虐待防止の取り組みに向けた委員会も地域福祉センターにて開催した。
- ⑤ 法人から出される新型コロナウイルス感染症対策に沿って業務を実施。
手洗いうがいの徹底はもちろん、訪問時はマスク着用し、終了後には消毒を実施。その他、不安な場合には地域福祉センター医務へ隨時、確認しながら業務を実施した。
- ⑥ ICTを導入。ペーパーレス化を実施。昨年に比べるとおおよそ4～5割の紙を削減できた。
また、タブレットでの報告書を導入したことでも見やすくなった。
- ⑦ 職員の年次有給休暇は個人でのばらつきがあったが、全職員30%以上は取得。
令和7年度は40%の取得を目指す。

2 利用状況

① 指定訪問介護事業（介護保険）

(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	36	41	38	42	43	38	51	39	40	34	37	37	476

② 訪問型独自サービス（介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	3	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	50

③ 指定居宅介護事業（障害者総合支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	622	634	603	627	627	584	628	612	628	650	583	630	7,428

④ 介護度・区分別登録者数

	障がい	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	11	0	1	0	0	2	0	0	0	14
女性	1	0	0	3	1	0	0	0	0	5
合計	12	0	1	3	1	2	0	0	0	19

1 実施状況

- ① 感染予防対策をしっかり行った上で、希望にそった食事・買物外出やイベントを行った。一人ひとりの希望にそった行事を行うことで、ストレス解消や心身のリフレッシュにつながる有意義な時間を提供することができた。
- ② 敷地内で野菜作りや花栽培を行い、草取りから収穫までを活動として進め、心身機能の活性化につなげることができた。また、継続してひまわり栽培・収穫を利用者と共に行った。
- ③ 創作活動として、思い出フォトやちぎり絵、ぬり絵を展示した。また、薄市小学校卒業生へなたね油セットとキーホルダー作成しプレゼントした。
- ④ コロナウィルスやインフルエンザ等の影響により、休業や利用制限を行ったことにより、前年度より月平均稼働日数-0.5日、1日平均利用者数-0.3人（延べ-148人）利用件数減となった。
- ⑤ エコキャップ活動は、地域のボランティア活動に結びついている。地元のこども園や地域の人からの協力を得て、ペットボトルキャップ 730 kg、約 313,900 個を収集することができた。ペットボトルキャップ 1 kg をゴミとして焼却しなければ、CO₂ を約 3 kg 削減できる。（前年度 420 kg 約 180,600 個）
- ⑥ 事業継続計画(BCP)の定期的な見直しを行い、感染対策や災害時に対応できる体制を整えた。また、年2回以上の避難訓練を実施した。
- ⑦ 高齢者・障がい者虐待防止委員会、身体拘束廃止検討会を設置し、年1回以上の開催により、虐待防止等への取り組み、身体拘束廃止に向けた意識を全職員が持ち、身体拘束を行わない支援を実施した。

2 利用状況

① 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活介護	251	294	276	276	247	270	290	236	252	199	240	285	3,116	259.7
自立訓練	10	13	12	13	8	14	11	11	9	0	0	0	101	8.4
稼働日数	22	23	22	23	22	22	23	22	22	22	20	23	263	21.9
1日平均	11.9	13.3	13	12.6	11.6	12.9	13.1	11.2	11.9	10.5	12	12.4	12.2	

② 障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	3	6	3	2	2	16
女性	0	0	1	1	2	0	0	4
合計	0	0	4	7	5	2	2	20

③ 利用者別状況

	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳	合計
男性	0	0	1	2	5	3	5	16
女性	0	1	0	0	1	1	1	4
合計	0	1	1	2	6	4	6	20

令和7年3月現在

地域密着型特別養護老人ホーム きりん館

特別養護老人ホーム きりん館

1 実施状況

① 地域との関わり

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、薄市小学校の運動会、学習発表会、入学式・卒業式来賓等、交流が再開され利用者、職員が参加している。

また地域福祉センター「秋祭り」を開催し多くの家族、友人が参加している。

② 感染予防対策

通年を通して新型コロナウイルス感染予防対応に力を注いだ。ご利用者、ご家族の協力により面会、行事等の制限を最小限で実施することができた。

③ 余暇活動

新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、毎月のお食事会、カラオケ大会、昔懐かしき遊び、園芸活動など充実した活動を行うことができた。

2 利用状況

① 介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	870	899	870	899	899	865	890	845	895	899	807	863	10,561	88.2
入院日数	0	0	0	0	0	5	6	0	1	0	6	17	35	7
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率 (%)	100	100	100	100	100	99.4	99.0	97.1	99.6	100	96.0	96.0		98.9

② 年齢

年齢 性別	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男性	0	0	1	3	1	1	0	0	6	85.6
女性	0	0	1	4	6	7	6	0	24	89.6
合計	0	0	2	7	7	8	6	0	30	88.9

※入退所があったため 30名となっています

③ 要介護度

要介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	1	3	1	5
女性	0	0	12	7	5	24
合計	0	0	13	10	6	29

④ 退所区分

年齢	死亡	入院	その他	合計
令和 5 年度	4	0	0	4
令和 6 年度	7	3	1	11

きりん館 短期入所

1 実施状況

介護保険法による特別養護老人ホーム併設型ユニット型短期入所事業を行い、専用居室6室を整備している。中泊町、五所川原市、つがる市在住の方々が、延べ133人、1,592日の利用があった。

2 利用状況

① 短期入所生活介護、予防短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	131	164	140	162	132	139	118	102	57	156	146	145	1,592	13.3
延べ利用者数	12	12	9	11	10	11	12	7	9	10	10	9	122	8.3
稼働率 (%)	72.8	88.2	77.8	87.1	71.0	77.2	63.4	56.7	30.6	83.9	86.9	78.0		69.4

※ 介護保険の場合、要介護認定の期間が6カ月から最長36カ月まで認められており、利用期間中に要介護度が変更となり、要介護度を2つ以上持っている方がいる。

きりん館 医務

1 実施状況

- ① 感染予防対策の実施・指導
- ② 結核検診の実施
- ③ 職員の健康管理についてのアドバイス・指導
- ④ 看取り介護の実施

2 評価

- ① 日々の健康管理や適切な受診を実施することにより、長期の入院者を減少させることができた。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策として予防マニュアルの作成、勉強会・会議等の開催、職員へは「持ち込まない」ための指導や管理を行った。
- ③ 看取り介護への移行者は現在6名、今後も家族・医師・介護・給食と連携しながら穏やかな終末期を過ごせるよう支援した。

障害者福祉ホーム きりん館

1 実施状況

今年度は入・退去がないものの、入院、短期入所サービスを利用した方が 2 名いた。

ホームヘルプサービスやうちがた工房の生活介護・機能訓練サービスを利用して、利用者一人ひとりの自己決定による生活を保障し、地域で自立した生活を送れるよう支援した。

2. 利用状況

年齢 性別	30~39	40~49	50~59	60~69	70 以上	合計	平均
男性	0	0	3	6	1	10	63.8
女性	0	0	0	1	0	1	67.0
合計	0	0	3	7	1	11	64.1

3. 障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	3	2	3	2	0	10
女性	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	3	3	2	0	11

中泊町地域包括支援センター

中泊町地域包括支援センターは、高齢者などが住みなれた地域で安心してその人らしい生活ができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進し支援を行った。中里地域の総合福祉健康センター湯らばーくを拠点として、相談の他、湯らばーく内で「ゆらカフエ（認知症カフエ）」、いきいき百歳体操のサポート、館内事業所合同でのイベントを開催した。また、飛び地である小泊地域住民が相談しやすいように、小泊地域は中泊町地域包括支援センターこどまり支所を拠点としている。

当法人は中泊町から委託を受け、主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師・介護支援専門員・認知症地域支援推進員・介護福祉士（資格の重複あり）等7名のスタッフを派遣し、総合的な相談体制を整えている。

1 実施状況

① 包括的支援事業

（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務）

65歳以上のすべての高齢者を対象として、保健・医療・介護・福祉、生活の総合的な相談に応じ適切な機関や制度の利用に繋げる支援を実施し、65歳以下に関しても随時対応している。

高齢者虐待の事例について、対応件数8件（内訳：虐待事実あり1件、虐待事実なし7件）あり、町と速やかに連携し終結まで対応・支援を行い対応した。今年度は地域住民、家族から相談・通報が多く（5件）、また、虐待につながる前の相談が多く、虐待を未然に防ぐことができた。支援が困難なケースは多機関（行政・権利擁護センター等）と協力して解決まで支援した。

地域のネットワーク構築として、中泊町介護支援専門員連絡会の事務局としてサポートした。高齢者世帯調査を117件実施、不在宅にはチラシを配布した。調査やチラシから10件前後相談があった。

② 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

65歳以上の全ての高齢者に、年齢や心身の状況などに関わらず、要介護状態となっても生きがいや役割をもって生活ができる地域づくりを目指し必要な支援を行った。

・一般介護予防事業

住民運営の通いの場「いきいき百歳体操」の立上げ支援・継続支援体操などを行う住民主体の通いの場の立上げ支援を2ヶ所行い、現在活動している16ヶ所の継続支援を行った。

③ 地域ケア会議の推進

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、個別事例の分析を通じてその解決とともに地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげた。飛び地である小泊地域の方が参加しやすいように、オンライン体制を整えている。全10回開催（個別会議4回、推進会議4回、運営会議2回）

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護予防が必要な人（要支援1・2・事業対象者）に対して、適切な介護予防計画を作成した。ケアプラン作成件数が令和5年度より491件増加している（町内にリハビリ特化型デイサービスが開設したため）

⑤ 認知症施策の推進

認知症になつてもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断や早期発見に向けた支援を行う認知症初期集中支援チームを設置しているが対応件数はなかった。しかし、認知症と思われるケースは52件対応し、総合相談として対応している。認知症地域支援推進員配置（3名）し、主に地域ケア会議や総合相談、講師などの活動をおこなっている。認知症サポーター養成講座を6回開催し145名（児童105名）のサポーターを養成した。

中泊町健康MYフェスタを福祉課・町民課と合同で9月に開催した。

『ゆらカフエ』（認知症カフエ）を毎月開催し延べ170名の参加あり。また、小泊町会連「なごみカフエ」（毎月第3水曜日）の立ち上げ支援と継続的サポートを実施した。平均20名～40名の参加者がいる。

⑥ 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供される体制の構築を目的としている。小泊地域の小泊連絡協議会（小泊診療所、薬局、小泊地域事業所等）に毎月参加している。また、地域医療支援専門員が1名配置され、小泊地域医療懇談会を開催している。

(2) 事業実績

① 相 談

■ 相談件数（延べ）

単位：件

来所		162
電話		937
訪問		590
その他		139
合 計		1,828

■ 相談者の区分（延べ）

単位：件

本人	694
家族	516
知人	14
関係機関	367
その他	21
中泊町役場	201
親類	19
合 計	1,832

■ 相談内容（延べ）

単位：件

介護・日常生活に関する相談	205
サービス利用に関する相談	536
介護保険に関する相談	472
医療に関する相談	133
所得・家庭生活に関する相談	61
権利擁護に関する相談	20
高齢者虐待に関する相談	20
障害サービスに関する相談	11
苦情相談	0
その他	157
合計	2,117

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援

■ 中泊町介護支援専門員連絡会

第1回	行政連絡・令和6年度事業計画について
第2回	ワイス・パーク青森中泊店体験利用会
第3回	事例検討会：「認知機能が低下し、介護拒否あり義歯を紛失し、食欲不振が続いている方への援助について」
第4回	行政連絡・地域ケア会議報告 「BCPのその先」～ケアマネ間の協力体制について～

■ 会議などへの参加

地域関係者主催の会議	12
地域密着型運営推進会議	21
民生・児童委員定例研修会	17
合 計	50

③ 地域ケア会議の充実

■ 中泊町地域ケア会議の位置づけ

会議の名称	会議の機能				
	個別課題 解決機能	ネットワーク 構築機能	地域課題 発見機能	地域づくり 資源開発機能	政策提言機能
1 地域ケア個別会議	○	○			
2 地域ケア推進会議		○	○	○	
3 地域ケア運営会議		○	○	○	○

■ 地域ケア個別会議（個別ケースの課題解決）※1回2事例検討した(50分×2ケース)

第1回	1. 「キーパーソンが急死したことで混乱し、日常生活を送ることに支障が出てきた方の支援について」 2. 「もの忘れがあっても地域で本人なりに生活していくための支援方法について」
第2回	「中程度の認知症のかたへの対応や家族との接し方」
第3回	「サービス事業所の選択の際の支援について」
第4回	「本人と家族の意向の違いがあるため、今後どのような支援方法があるのか」
随時 (緊急)	「重度認知症のある妻に対して、理解力が不足している夫への支援について」

■ 地域ケア推進会議（関係者で地域課題の共有・解決方法の検討、研修会の開催）

第1回	事例検討会『認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるような地域づくり』 参加者 26名
第2回	『いつまでも元気に暮らせる地域づくりのために』～中泊町SOS徘徊ネットワーク事業の概要について～ 講師 中泊町地域包括支援センター 三上月江氏 参加者 10名
第3回	『高齢者虐待防止対応と権利擁護』 講師 青森県社会福祉士会 権利擁護委員会 宮古道子氏 参加者 30名
第4回	『みえにくい課題に気づき支え合える地域へ～ヤングケアラーを知る～』 講師 青森県立五所川原高等学校 スクールソーシャルワーカー チームなないろ代表 川村沙織氏 参加者 13名

■ 地域ケア運営会議（町の課題と町への提案を整理・決定する）

	審議事項	決定事項
第1回	「認知症サポーター養成講座を活性化する」	子どもの学習会でんちしようサポーター養成講座を開催する。児童へ認知症の普及啓発をする。
第2回	「認知症の普及啓発」	1. 「認知症の方に対する接し方」の普及啓発 2. 「ACPの普及啓発」「エンディングノートの普及啓発」を地域で開催する 3. 地域ケア会議のフィードバック

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

要支援者・事業対象者に対して予防支援を行った。

■ プラン数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	51	52	51	50	57	51	48	52	50	50	50	49	611
ケアマネジメントA	111	137	142	135	140	136	141	144	145	151	146	155	1,683
委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	162	189	193	185	197	187	189	196	195	201	196	204	2,294

ケアマネジメントA：指定介護予防支援と同様のケアマネジメント

ケアマネジメントB：簡略化したプロセスでのケアマネジメント

※あやめの会は令和6年3月で廃止となっているため表示していない

⑤ その他

- ・講師依頼 7回（宝寿大学2回、中里高齢者教室3回、つがる市介護予防普及啓発事業、鰺ヶ沢町社会福祉協議会役職員等研修会）あり派遣した。
- ・要介護認定調査を73件実施。
- ・中泊町民祭に参加し、高齢者疑似体験、脳チェック、switchのブースを設置した。
- ・中泊 MY 健康づくりフェスタを福祉課、町民課と開催。出張認知症カフェとswitchのブースを設置した。
- ・ケアプラン点検を2回実施。主任介護支援専門員が福祉課と実施した。
- ・switchを活用した集いの場を毎月第2火曜日実施。夏休みは子ども向けに毎週開催した。
- ・中泊町総合福祉健康センター湯らばーくで、管内事業所と共同で1周年記念イベントやワイス・パーク青森中泊店体験会＆相談会を実施した。
- ・ソーシャルワーク実習I（弘前学院大学社会福祉学部社会福祉学科）2名の実習を受け入れた。

行事・外出・レクリエーション

① 特別養護老人ホーム きりん館

新型コロナウイルス感染症対策として、少人数での活動を主に行った

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	19日	カラオケ倶楽部	5名		1名
	26日	ビデオ鑑賞	10名		2名
5月	15日	ドライブ外出	1名		3名
	24日	カラオケ倶楽部	4名		1名
6月	8日	トマト苗植え	3名		1名
	12日	カラオケ倶楽部	4人		2名
7月	3日	七夕飾りつけ	5名		2名
	7日	七夕祭り	20名		5名
8月	12日	トマト収穫	5名		2名
	14日	カラオケ倶楽部	5名		1名
9月	11日	なかどまり祭り	2名		2名
	20日	中里派立まつり	2名		2名
10月	16日	敬老会	35名		10名
	21日	「うちがた秋祭り」	32名		10名
10月	11日	買い物外出	3名		3名
	26日	薄市小学校学習発表会	1名		1名
	27日	なかどまり町民文化祭	2名		2名
	28日	ドライブ外出	3名		3名
11月	8日	カラオケ倶楽部	5名		1名
	15日	おやつづくり	15名		3名
12月	6日	クリスマス飾りつけ	8名		3名
	21日	クリスマス会	35名		17名
2月	2日	節分・豆まき	33名		9名
	14日	バレンタインデー	35名		3名
3月	3日	ひな祭り	30名		8名
	5日	お茶会	20名		10名 ボランティア 8名

② 地域福祉センター デイサービス

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	16日	花見外出	4名	2名
	17日	花見外出	8名	2名
	18日	花見外出	10名	3名
	19日	花見外出	9名	3名
6月	11日	買い物外出 中泊ベル	5名	2名
	12日	買い物外出 中泊ベル	7名	2名
	13日	買い物外出 中泊ベル	8名	2名
	14日	買い物外出 中泊ベル	6名	1名
7・8月	7/30	夏休み児童学習会	児童40名	
	8/16	夏休み児童学習会	児童35名	
8月	6日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	2名
	7日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	2名
	8日	買い物外出 金木スーパーストア	7名	2名
	9日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	2名
9月	21日	地域福祉センターうちがた 秋祭り	80名	8名
10月	29日	焼き芋会	27名	7名
12月	17日	買い物外出 金木スーパーストア	4名	2名
	18日	買い物外出 金木スーパーストア	9名	2名
	19日	買い物外出 金木スーパーストア	2名	1名
	20日	買い物外出 金木スーパーストア	3名	1名
1月	7日	新年会	27名	7名
	8日	新年会	30名	7名
	9日	新年会	28名	7名
	10日	新年会	28名	7名
3月	12日	買い物外出 中泊ベル	6名	1名

③ 地域福祉センター うちがた工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員	園内外
4月	19日	花見外出	11名		5名	園外
5月		おやつ作り	13名		6名	園内
6月	1日	ドライブ外出（鯵ヶ沢方面）	8名		5名	園外
	29日	ドライブ外出（小泊方面）	11名		5名	園外
8月	3日	買い物外出（スーパーストア中泊ベル）	10名		6名	園外
	31日	うちがた工房 BBQ	16名		6名	園内
9月	21日	地域福祉センター秋祭り	14名		6名	園内
11月	2日	ひまわり収穫お疲れ様会	14名		5名	園内
12月	21日	クリスマス会	11名		5名	園内
3月	1日	お楽しみ会	14名		5名	園内
	12日	薄市小学校卒業生と交流	2名		2名	園外

※12月の買い物外出、1月の新年会はコロナウィルス流行のため中止